

展覧会名

七宝—彩りの世界—

会 期

2021年7月3日(土) - 2021年10月25日(月)

会 場

 山梨ジュエリーミュージアム
 山梨県甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階(山梨県庁)

入館料

無 料

お問合せ

山梨ジュエリーミュージアム TEL 055-223-1570

展覧会概要

七宝とは、金属の素地の上に色鮮やかなガラス質の釉薬を施したものを指します。身近で釉薬を施したものと言えば、陶器(素焼きした焼き物に釉)や瑠璃(鉄やアルミニウムに釉)などがあげられます。

七宝の歴史は古く、東ローマ帝国では有線七宝が見られ、12世紀以降フランス・リモージュやパリ、ドイツ・ケルンなどで多くの技法が使われていました。

日本においても、奈良時代にシルクロードを経て大陸から伝わったと言われ、室町時代から安土桃山時代の頃までには、日本各地で七宝が制作されはじめ、江戸後期には「七宝焼」の名称も広まっていったと考えられています。

日本における七宝の黄金期は明治13年(1880)から明治43年(1910)の30年間で、製品としての輸出が盛んでしたが、大正から昭和にかけての2度に渡る世界大戦の余波は大きく、やがて輸出は衰退していきました。それでも輸出とは別に、工芸作品としての七宝を制作する流れは続き、現在では宝石では出せない色や質感、形を表現できる可能性に富んだ技術としてジュエリーにも取り入れられています。

ものづくりに高度な機械加工が次々と導入される現在、七宝は手作業で作上げる美の結晶とも言え、作者の感性や精神性をダイレクトに反映することができる稀有な表現ではないでしょうか。

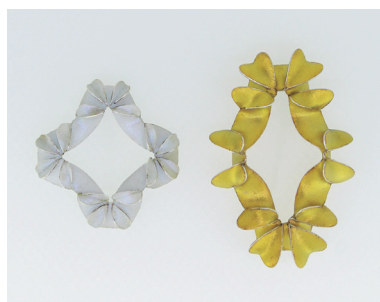
伝統技法を用いながら、現代における新たな価値を生み出している七宝作品の数々をご覧ください、宝飾の可能性を感じていただければと思います。

主な展示作品



1. 青薔薇

デザイン・制作：村松 司 工房ムラマツ



3. Brooch1/Brooch2

デザイン・制作：中村 佳世

2. 葉っぱのピアス/ピアスホルダー

デザイン・制作：河野 裕治



4. 華

デザイン・制作：小野 純子

特別体験のご案内

「七宝」のペンダントの特別体験を実施します。

体験実施日 7/4 (日) ,7/7 (水) ,7/18 (日) ,7/21 (水) ,8/1 (日) ,8/4 (水) ,8/15 (日) ,8/18 (水) ,8/29 (日)
 9/1 (水) ,9/12 (日) ,9/15 (水) ,9/26 (日) ,9/29 (水) ,10/10 (日) ,10/13 (水) ,10/24 (日)
 実施時間 ①午後1時～ ②午後3時30分～

同時開催

「宝美展 vol.3」(主催：山梨県立宝石美術専門学校) 2021年7月3日(土)－8月2日(月)

「第11回水晶彫刻若手作品展」(主催：山梨県水晶美術彫刻協同組合 青年部)
 2021年8月7日(土)－9月6日(月)

「JJAジュエリーデザインアワード2021」(主催：一般社団法人日本ジュエリー協会)
 2021年9月9日(木)－9月27日(月)

「山梨の水晶工芸と装身具」 2021年10月2日(土)－10月25日(月)

体験工房のご案内

山梨ジュエリーミュージアムでは、土、日、祝日にジュエリー制作が体験できるプログラムをご用意しています。ジュエリー産地、山梨で活躍している職人の指導のもと「山梨ジュエリー」のワザを体験できます。

体験に際しましては、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行っております。



※こちらに掲載している写真は、新型コロナウイルス感染症発生以前に撮影したものです。

広報用画像

本展覧会をご紹介して頂ける場合に限り、上記掲載の作品画像データを提供いたします。当館サイトからダウンロードできますので、メールでお問い合わせください。ダウンロードアドレスをご連絡します。なお、お問い合わせの際は、下記内容を合わせてお知らせください。

- | | |
|--------------------|-----------|
| ① 希望する作品画像の番号・タイトル | ④ 所在地・電話 |
| ② 媒体名・掲載(公開)予定日 | ⑤ メールアドレス |
| ③ 御社名・ご担当者名 | |

【重要】プレス画像のご利用にあたって、必ずお読みください。

- ① プレス画像の利用は、当該画像に係る展覧会または当館に関する記事掲載の目的での利用に限ります。
- ② プレス画像の掲載に際しては、作家名、作品名、作品情報など所定のクレジットを必ず記載してください。
- ③ 校正の段階で原稿を山梨ジュエリーミュージアム 広報担当宛 (jewelry-museum@pref.yamanashi.lg.jp) にお送りください。
- ④ プレス画像は全図でご使用いただき、トリミングや文字乗せ等は行わないでください。また、画像が無断で第三者に利用されることのないよう、コピーガード、転載不可の明記など、必要な措置を講じてください。
- ⑤ 画像データは使用後速やかに破棄してください。データの保存および第三者への提供はお控えいただくようお願いします。
- ⑥ 取材の内容及び借用画像が収録・掲載されたサイト・番組等はDVDI枚、印刷物については、現物を1部もしくはコピーの場合は3部ご寄贈ください。

※媒体掲載にご使用いただける印刷用の高解像度(300-400dpi)とオンライン用の低解像度(72dpi)の2種類の画質をご用意しております。